



NPOで 高校生の 夏ボラ体験

過去17年間のふりかえり調査
報告書
認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

はじめに

新型コロナウイルス感染症の蔓延は、私たちの暮らしを大きく変えています。一人ひとりが社会に貢献できる方法にも、変化が押し寄せています。その一つが、ボランティア活動です。

2003年以降、17年間にわたり認定NPO法人杜の伝言板ゆるるでは、高校生が夏休みにボランティア体験を行う「NPOで高校生の夏ボラ体験」を実施してきました。高校生が、地域で行われているNPOの活動に触れ、様々な人と出会い、地域の課題を理解することを目的としたプログラムです。その目的を達成するためには、人と人との接触が重要な役割を果たします。2020年の状況では、こうしたプログラムの実施は望ましくないという判断を下さざるを得ませんでした。

しかし、私たちは何もせずに一年間を過ごすことはできませんでした。むしろ、この「お休み期間」を活用して、『夏ボラ』が高校生に及ぼした影響を、長期的な視点で捉える「ふりかえり調査」を実施することにしました。

この報告書は、その結果をまとめたものです。夏休み期間中の3日間の体験が、その後、進路の決断や職業の選択に影響を及ぼした例など、「夏ボラ体験」が私たちの予想をはるかに超える大きなインパクトを残していることを発見しました。

ぜひこの報告書から、「夏ボラ体験」の可能性を感じてください。そして、コロナ禍におけるボランティア活動のあり方を模索しながら展開していく、次年度以降の『夏ボラ』を楽しみにお待ちいただけましたら幸いです。

最後になりましたが、本事業を遂行するにあたり、また本報告書を刊行するにあたり、かほく「108」クラブさま、真如苑さまに多大なるご支援をいただきました。ここに改めて感謝を申し上げます。

2021年3月
認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
代表理事 石田 祐

「NPOで高校生の夏ボラ体験」 ふりかえり調査実施メンバー

氏名 所属（担当）

おかだ 岡田	あや 彩	東北大学大学院情報科学研究科 准教授 / 杜の伝言板ゆるる 副代表理事 (調査設計、アンケート調査、インタビュー調査、分析、執筆)
まかべ 真壁	さおり	社会福祉士 / 宮城県サポートセンター支援事務所 / 杜の伝言板ゆるる 副代表理事 (アンケート調査、インタビュー調査)
いしだ 石田	ゆう 祐	宮城大学事業構想学群 教授 / 杜の伝言板ゆるる 代表理事 (アンケート調査、インタビュー調査)
おおみや 大宮	かな 佳奈	杜の伝言板ゆるる 事務局スタッフ (調査・発送調整)
ちだ 千田	なおみ 直美	杜の伝言板ゆるる 事務局スタッフ (発送調整)
まるやま 丸山	みちよ 美智代	杜の伝言板ゆるる 事務局スタッフ (発送調整)

目次

I. 調査の目的と概要

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 「夏ボラ体験」とは | 5 |
| 2. 調査方法と回答者・回答団体の概要 | 7 |

II. 体験者の調査

- | | |
|---------------------------|----|
| 1. 活動団体と活動内容の記憶 | 9 |
| 2. 体験中のNPOのスタッフとのやり取り | 12 |
| 3. 「夏ボラ」から得たもの | 13 |
| 4. 「夏ボラ」後のNPOとの関わり | 14 |
| 5. 後輩へのメッセージに見る「夏ボラ」の意義 | 15 |
| 6. 10名のストーリー | 19 |
| 7. インタビューに見る「夏ボラ体験」の良いところ | 23 |
| 8. 改善点の提案 | 24 |

III. 受け入れNPOへの調査

- | | |
|--------------------|----|
| 1. 高校生を受け入れて良かったこと | 28 |
| 2. 「夏ボラ」後の高校生との交流 | 29 |
| 3. 高校生を受け入れて困ったこと | 30 |
| 4. 高校生に期待すること | 30 |
| 5. 改善点の提案 | 30 |

IV. 送り出し高校への調査

- | | |
|--------------------------|----|
| 1. 「夏ボラ体験」の周知方法 | 32 |
| 2. 「夏ボラ」から高校生が得ていること | 33 |
| 3. 「夏ボラ」に生徒を送り出す上で困ったこと | 34 |
| 4. 現役高校生のボランティアへの関心と体験機会 | 34 |
| 5. 改善点の提案 | 35 |

V. まとめと今後への示唆

- | | |
|-------------------------|----|
| 1. 「夏ボラ体験」はWin-Win-Win | 37 |
| 2. 改善点と新型コロナウィルス感染症への対応 | 38 |

I. 調査の目的と概要

1. 「夏ボラ体験」とは

『NPO で高校生の夏ボラ体験』は、高校生が夏休み期間中に、県内の非営利組織（NPO）等にて、約 3 日間のボランティア活動をするプログラムです。2003 年に始まり、以降のべ 2000 名以上の高校生が参加してきました。

高校生は、地域における次世代の担い手です。「夏ボラ」では、そうした高校生が、地域に寄り添い、課題を解決するため日々活動している NPO でボランティア体験をすることで、NPO を知り、今地域が抱えている課題に気付く機会を創ることをねらいとしています。

「夏ボラ」は、高校生に学校では体験できない経験を提供したいと考えています。ボランティア体験を通して、高校生がこれまで出会わなかった人と出会い、家族や仲間以外の人々の考えに耳を傾ける機会を設けることは、その後の行動や関心分野を広げていくきっかけとなることが期待されます。また、自主的な選択で活動した成果は、確実に自分の存在の肯定

に繋がり、他者の存在も尊重する気付きとなることでしょう。そうした経験を今後に活かし、社会で活躍する人材を育成することを目指しています。

高校生のボランティアを受け入れる NPO にとっても、地域の課題を自らの力で解決しようとする様々な人々が活動していることを知らせ、次世代を担う青少年層に、自らの住むところのことは自ら担っていくという活動の意義を伝える機会を創り出すことが期待されます。

参加する高校生は、自分の興味関心に基づいて、体験先や活動分野の希望を出します。そして、受け入れ NPO が対応可能な人数とのマッチングを経て、体験先が決定します。

ボランティア体験に出向く前には、「事前学習会」が開催されます。そこで、高校生は NPO やボランティアについて話を聞き、理解を深めるとともに、実際に活動している方々のお話を聞きします。また、体験後に作成する「体験談」の執筆にそな



FOR YOU にこにこの家（2018 年）

えて、多くの人に伝わる文章の書き方を、プロから学びます。実際にボランティア体験を行う NPO のスタッフとも顔を合わせ、体験当日に向けた準備を整えます。

2003 年以降、このように実施してきた「NPO で高校生の夏ボラ体験」には、これまでのべ 2,072 名の高校生が参加してきました。参加者数の推移から、過去 17 年の間、毎年平均 121 名の高校生にボランティア体験の機会を提供してきたことが分かります。

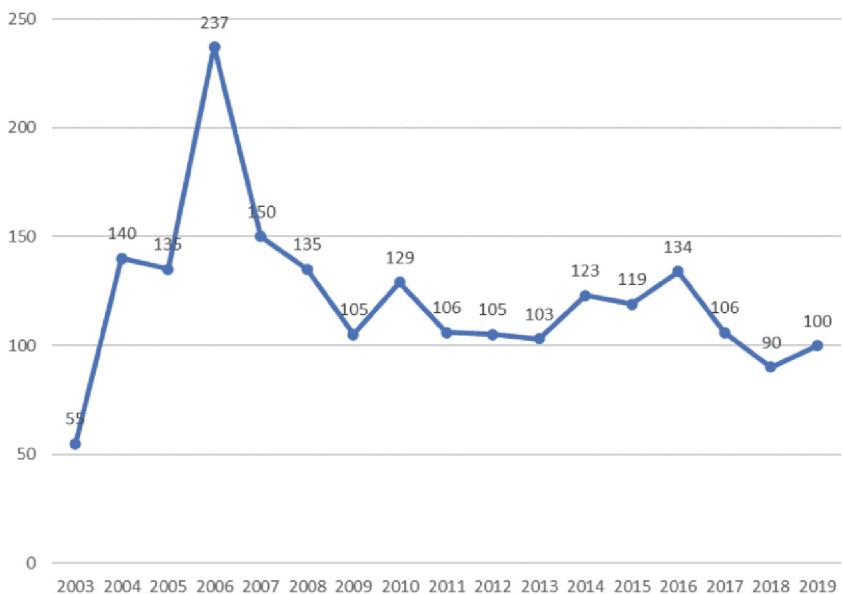


仙台夜まわりグループ（2019 年）



事前学習会（2019 年）

年度ごとに見る夏ボラ参加者



2. 調査方法と回答者・回答団体の概要

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、「夏ボラ体験」の実施は見送りました。多くのボランティア活動では、様々な人との接触が避けられないこと、一斉休校の影響により、高校生の夏休み期間が短縮されたことなどが大きな理由です。

一方で、この休止期間を活用し、過去17年間の「夏ボラ体験」の影響をふりかえる調査を計画し、「夏ボラ体験」に関わる3つの対象にアンケートやインタビュー調査を実施しました。

①高校生のときに「夏ボラ体験」に参加した方々

2003年以降の参加者のうち、事務局にて体験時の住所が確認できた計2002名に対し、2020年8月～9月、ハガキでオンライン調査への協力を依頼しました。QRコードから、専用サイトにアクセスし、回答する形式としましたが、あくまでも体験者の高校在籍時の住所であることから、当初より、差し戻しが多く発生することを予測しました。結果、57名の体験者から回答を得ることができました（回答率3.4%）。なお、複数年に渡って2回、あるいは3回参加した対象者には、「一番最後の経験」についての回答を依頼しています。

回答者の参加年度を見ると、2015年度以降に参加した体験者が最も多く見られました。特に、2019年度の参加者から、多くの回答を得ました。「夏ボラ体験」が記憶にも新しく、また住所変更がない体験者が多かったと考えられます。一方、「夏ボラ体験」初年度2003年度の参加者など、初期の体験者からも声が寄せられました。

またアンケート回答者のうち、協力が得られた10名からは、体験の感想やその後の状況を詳しく伺うオンライン・インタビューを行いました。一人30～45分、Zoomを介して、お話を伺いました。

NPOでボランティアをしたあの夏のこと、覚えてていますか



「NPOで高校生の夏ボラ体験」は、今年で18年目を迎えます。これまで2000名以上の高校生が、NPOでボランティアを体験してきました。

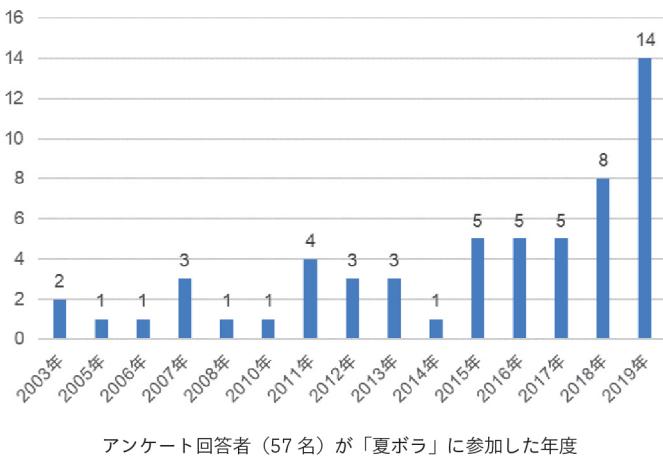
新型コロナウイルスにより、今年の体験は中止です。この「お休み」を活かし、より良い「夏ボラ体験」に向けて、これまで参加された方々の声をお聞きしています。あの夏を思い出し、皆さんを感じたこと、考えたことをぜひ教えてください。

QRコードを読み取り、ウェブアンケートにお進みください。
*所要時間は約10分です。
*9月10日頃までにご回答ください。



ご協力ありがとうございます！

認定NPO法人 桂の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6
コーポラス島田B6
npo@yururu.com Tel.022-791-9323



②高校生を受け入れた NPO

過去 17 年間、高校生ボランティアを受け入れてきた宮城県内の NPO、54 団体に対し、2021 年 1 月～2 月に、オンライン・アンケートを依頼しました。依頼時には、先に実施していた体験者アンケートとインタビューの概要を参考資料として送付したほか、その解説動画を YouTube 上で限定公開しました。コロナ禍の影響により、NPO 自身も様々な対応を迫られている中、計 8 団体から回答のご協力を得ることができました。

③32 団体に依頼、回収継続中

過去 17 年間、高校生を送り出してきた宮城県内の高校 83 校に対し、2021 年 1 月～2 月に、オンライン・アンケートを依頼しました。NPO 同様、依頼時には、先に実施していた体験者アンケートとインタビューの概要を参考資料として送付しました。計 8 校の担当教諭から回答を得たほか、1 名の先生には、Zoom でのオンライン・インタビューを実施しました。

II. 体験者の調査

体験者の回答を見ていきます。57名が回答したアンケートから、活動団体と活動内容の記憶、体験中のNPOスタッフとのやり取り、「夏ボラ体験」から得たもの、後輩へのメッセージから見る「夏ボラ体験」の意義、プログラム参加後のNPOとの関わりを分析します。さらに10名に対するインタビューから、「夏ボラ体験」に参加した高校生のその後のストーリーを見ていくほか、プログラムの良いところと感じられた点、改善の提案を検討していきます。

1. 活動団体と活動内容の記憶

高校生のときの夏休みのボランティア体験を、参加者はどの程度覚えているのでしょうか。参加したNPOの名前、あるいは活動分野、そして行った活動や作業の内容を尋ねました。

回答者の56.1%（32名）から、体験先NPOの具体名が挙がりました。最近の体験者（2015年度以降）が多かったものの、2007年度の参加者1名、2011年度3名、2012年度1名、2013年度1名からも、具体名が挙がりました。また体験時に行った活動や作業についても、具体的に記憶している回答者が多く見られました。

NPOの名前・活動分野	具体的な活動・作業内容
教育、障害児教育、障害児支援	障害児の食事、遊びなどのお世話
ホームレス支援	ホームレスの方々へ食べ物を配るなど
3.11 みらいサポート	行事の設営、震災伝承施設の見学など
名取の児童センター	小学生の子どもたちと遊ぶ
アマニヤアフリカ	フェアトレード商品のラッピングの作成等
碁ランティア	親子で囲碁イベントに参加しました。子供たちや親御さんと以後の対決をしました。
のびすく仙台	子どもと遊ぶ・掃除・親御さんから子育てについてお話を聞く
子育て応援団ひよこ (もしくは子育て応援団ゆうわ)	児童センターを利用する児童の補助

NPO 杜の伝言板ゆるる	障害のある子と遊んだりする
NPO 杜の伝言板ゆるる	新聞の切り抜き、書類を封筒に入れる作業、NPO プラザの見学
ハマボウフウ	ハマボウフウの手入れ
夜回りグループ	ホームレスの方々に配給
せんだい杜のこども劇場	児童クラブへの参加、祭りのブース手伝い等
幼稚園	子どもの相手など
NPO 法人おひさまくらぶ	老人ホームで皆さんとお話をしたり、食事の準備を手伝い一緒にゲームをしたり洗濯物など軽くお手伝いをしました
仙台七夕外国人案内	仙台七夕に訪れる外国人観光客に、仙台駅前で案内をする活動
NPO 杜の伝言板ゆるる	事務仕事の見学、新聞切り抜き
(未記入)	畑の土の瓦礫やゴミの除去作業
いしのまき NPO センター	パソコン入力
NPO 杜の伝言板ゆるる	NPO が活動したことが載ってる新聞記事の切り取り。ポップ作り。
児童館	小学生と遊んだ
スマイル	子どもと遊ぶ、遊具の消毒、草むしりなど
福祉	NPO 団体への支援活動、広報活動
碁ランティア	囲碁をして小学生たちとコミュニケーションをとる。
萌友（ほうゆう）	ホームレスの方々と調理・食事会、ホームレスの方々への炊き出し、物資供給
那智が丘児童館のボランティア	子どもたちとの交流
にじいろクレヨン	子どもたちと楽しく過ごす

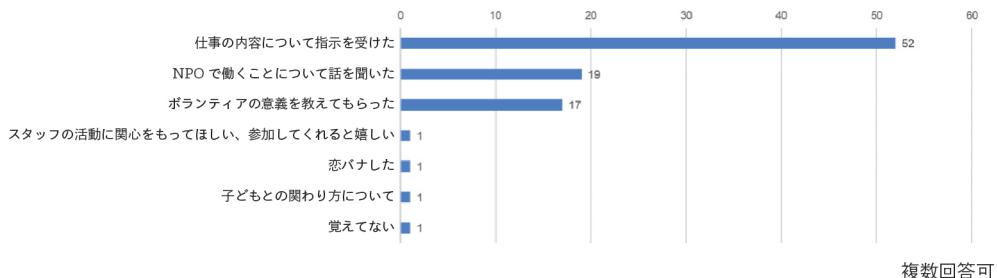
福祉	ファイリング
のびすく仙台	子どもとのふれあい、読み聞かせ
福祉	障害者の方とパンを作る
杜の伝言板ゆるる	農家に行き、野菜を収穫したりしました
のびすく	保育活動
ホームレス支援	炊き出し
夜回りグループ	ホームレス支援
NPO 法人萌友	ホームレスの方々への炊き出し
福祉障がい者支援	古川夏祭りへの参加付き添い等
どんぐりの家	障がい者自立支援、高齢者介護
福祉	(記入なし)
福祉、障がい	利用者と一緒に開店準備、清掃活動
国際交流	仙台駅構内で外国人観光客にパンフレットを渡す、観光地について案内等
福祉、教育	高校3年間ボランティア活動を行いました。ホームレスの方への炊き出しや、囲碁教室での子どもの練習相手、児童館での遊び相手等
国際交流	仙台駅構内で外国人観光客にパンフレットを渡す、観光地について案内等
NPO 法人夢みの里	イオンへお出かけ、子どもたちと共に遊ぶ、ご飯を食べる際のサポート等
NPO 法人シャロームの会	障がいを持った方と簡単な手作業、話し相手等
福祉	障がい児童施設のボランティア
海岸公園冒険広場	子どもとあそぶ活動

福祉	お年寄りの集まる施設での流しそうめんの手伝い、カラオケのお手伝い
福祉	利用者とスタッフと散歩
障がい児対象の児童クラブ	子どもたちの遊び相手になったり、みんなで電車でお出かけ
教育、福祉、障がい児支援	パンづくり
福祉	障がい者就労を共にした
児童館	お祭りの手伝い
地域生活支援 オレンジねっと	弁当配達、高齢者の介護体験
NPO 法人 麦の会	パン、焼き菓子作りを通した障がい者との関わり
仙台夜回りグループ	ホームレス支援
福祉	大人の障がい者施設の利用者さんと会話
介護福祉、幸町にて	介護福祉のお手伝いで、利用者の方の話し相手をした
福祉	障がい者の方たちと一緒によさこいを踊った

2. 体験中のNPOのスタッフとのやり取り

アンケートでは、ボランティア体験中に、NPOのスタッフとどのようなコミュニケーションがあったと記憶しているかを尋ねました。

91.2%(52名)の回答者が、「仕事の内容について指示を受けた」と回答した。また、33.3%（19名）は「NPOで働くことについて話を聞いた」、29.8%（17件）は「ボランティアの意義を教えてもらった」と回答し、活動・作業内容よりも一步踏み込んだやり取りがあったことを報告しています。「覚えていない」という回答は、わずか1件のみでした。



3. 「夏ボラ」から得たもの

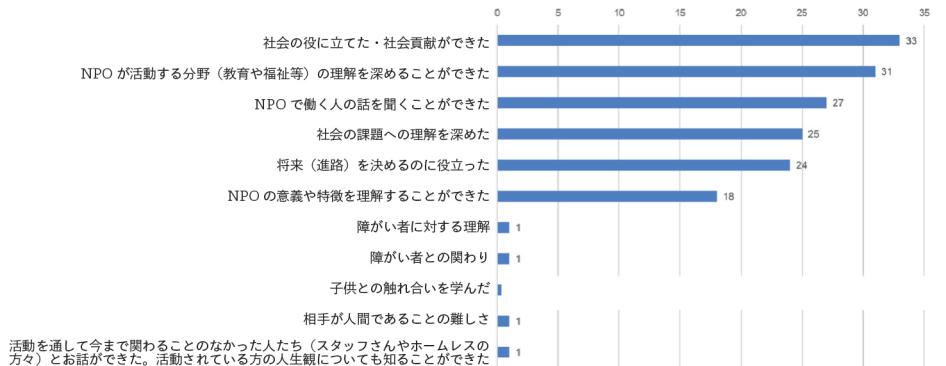
高校時代の夏休み、約3日間のボランティア体験から、どのようなことを得たと感じているのでしょうか。回答から、4点が浮かび上がってきました。

第一に、「社会の役に立てた・社会貢献ができた」という実感です。57.9%（33名）の回答者が夏ボラ体験から得られたこととして、この選択肢を選びました。学校の中では得られない達成感や満足感を得たことが伺えます。

第二に、実際に行われている支援分野などへの理解が深まったという点です。54.3%（31名）の回答者が、「NPOが活動する分野（教育や福祉など）の理解を深めることができた」、43.9%が「社会の課題への理解を深めた」と回答しました。体験を行ったNPOの支援者層は、子どもから高齢者、障がい者、ホームレス、他のNPOなど、多岐に渡ります。「夏ボラ体験」は、地域にこうした支援を要する人々がいるということを知り、考えを深めるきっかけになったようです。

第三に、NPOへの理解の深まりが挙げられます。47.3%（27名）が「NPOで働く人の話を聞くことができた」、31.6%（18名）が、「NPOの意義や特徴を理解することができた」と回答しました。

第四に、自分自身に直結して得られた事柄があげられました。43.9%（24名）が「将来（進路）を決めるのに役立った」と回答しています。

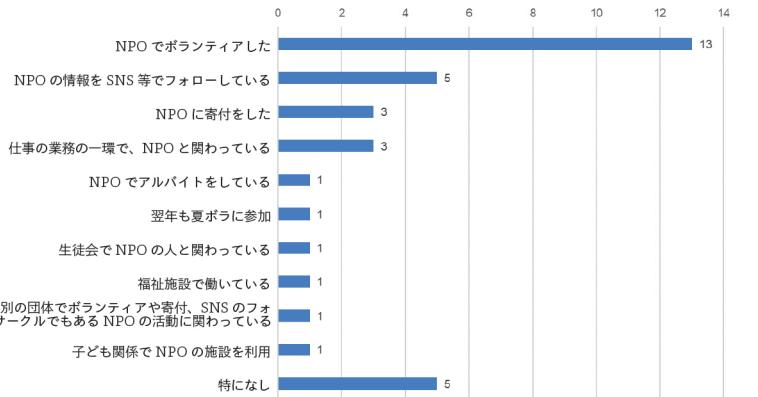


複数回答可

4. 「夏ボラ」後の NPO との関わり

約 3 日間のボランティア体験をした高校生は、その後、NPO やボランティアと関りを持っているのでしょうか。事業の成果として、その後の継続性は、非常に大きなポイントです。

アンケートでは、22.8%（13 名）が、夏ボラ体験後に「NPO でボランティアした」経験を有していることがわかりました。また 9%（5 名）が「NPO の情報を SNS 等でフォロー」、5.3%（3 名）が「NPO に寄付」していました。「仕事の業務の一環で、NPO と関わっている」回答者も、5.3%（3 名）確認されました。一方、「特になし」という回答も 9%（5 名）見られました。



複数回答可

5. 後輩へのメッセージに見る「夏ボラ」の意義

アンケートの最後では、これから「夏ボラ」に参加する後輩へのメッセージをいただきました。将来に役に立つ経験であったこと、新しい発見がある体験であったことが浮かび上がります。

色々な経験のできる場なので、参加して後悔はありません

自分の興味があるもの優先で！

良い経験になるのでやってみた方良いです！

私は、このボランティア体験で自分のやりたいことが明確になり、大学進学に生かすことができました。たった数日間の体験ですが、本当に多くのことを学ぶことができます。心からお勧めします！

人との関わりは、一生の宝物だと思っています。たくさんの経験をすることができます！頑張ってください！

ボランティアは、普段考えてこなかったことについて考えることが出来るよい機会になります。数日間でも、必ず自分の糧となります。頑張ってみてください！

まず、やってみよう。工夫しよう。うまくいったら面白いから。

自分が知っているようで知らない事が分かります

優しく教えて下さるので、身構えないで楽しみながら体験してみて下さい

2年間ひとつの所にボランティアしたので、たくさんのこと学べました。面倒くさいとか思うかもしれないけど、自分から進んでボランティアしたことに意味があると思うし、達成感あると思うので頑張ってください！

今まで知らなかつた事を発見できるきっかけになると思います。

ボランティアはたくさんやるだけその分自分の力になると思います。私は夏ボラは高3の1度のみでしたが、その後も様々なボランティアに参加するようになりました。一期一会なので、一つ一つの経験を大切にしてもらえるといいなと思います。

緊張するかもしれないけど挑戦してみるのに価値があるから、なんでもいいから体験して経験としてこれから生かしてみてください

私は高校三年生の時に、夏ボラに参加致しました。参加するまで一步踏み出すのに悩みましたが、周りの友達も別のボランティアに参加するというので参加意思を決めました。夏ボラはたくさんの種類があり、自分の興味のある分野を選べるので、将来につながる良い機会だと思います。勇気を出してボランティアに参加してみてください！良いことしかありません。

福祉問題を知るきっかけになりました。中学高校時代に知っておくと大学で一目おかれます！

いろいろな体験を通して、自分自身成長できるチャンス！

自分の夢を見つけられます！

参加しようか迷ってるなら絶対参加した方がいい！！！！！！
体験内容の把握、自分にあった内容の選択をしっかりとすると良い。

将来に役立ちます

将来につながる、他では得られない経験ができます！

ボランティア活動に対して真摯に考えることができる他に、色々な人と関われるコミュニティの場としても勉強になるので、是非積極的に行動してみてください！

その後の人生に生きてくる経験を得られると思うのでぜひ積極的に参加してみてください！

いろんな経験できるから頑張って！

夏ボラ体験は必ずこれから的生活に活きて来ると思います！普段できない体験をぜひしてきて下さい！

良い経験ができるので是非参加してみてください！

様々なボランティアを体験して、頑張ってください。

ボランティア活動をする事によって得られたことが今後の自分に役立つと思うので、楽しんで下さい。

暑さにめげず頑張って

知っていると思っていたことも、案外本当に知っているとは限りません。実際に体験してみることはとても大事です。頑張りましょう！

私は夏ボラに3年間参加させていただきました。ボランティアを今までしたことなく、夏休みに部活以外に何かできないかなと思い参加したのがきっかけでした。ボランティアという言葉はよくきいてはいたものの、中身は漠然としか知らないくて、実際に保育、施設、炊き出しといったさまざまなボランティアを通して多くのことを学べ、ボランティアのやりがいを感じることもできました。それがきっかけで大学時代もボランティアサークルに所属してたのしみながら活動することができました。ぜひ、この貴重なボランティア体験を通して、日常では学べないことをたくさん吸収してほしいと思います。

大変なこともあると思うけど、タメになることなので、頑張ってください！

いつどこでどのような形で生きるかはわかりませんが、期待しないこと。でも、自分の将来には大いに期待してください。

学びを深め社会に生かして下さい。

参加すると視野が広がると思います。

参加することに意義がありますし、得るものはきっと沢山あるから是非参加してほしいです！

初めてのボランティアでしたが、みなさん親切にして下さり、ボランティアのやりがいや将来を考える良い機会となりました。社会人になった今でも、その経験や思い出は心に深く刻まれています。

一生の思い出に残るくらい価値のある体験をすることができます！

とてもやりがいがあります！

夏ボラ体験で得たいいろいろな目線、角度で物事を見るということは大学に行っても社会で働くようになっても役に立つと思いますし、なにより人に優しくなれると思います。このような社会の情勢ではありますが、参加して、体験してみてください。暑くても全力で楽しんでください！！

社会経験としてやるべきです！

夏ボラでは学生時代にしか出来ない体験もあります。失敗も今だから出来ることです。夏休みはやりたいことも沢山あると思いますが、経験や出会いは視野を1つ広げる良い機会になります。頑張って下さい！

学生時代の体験は、とても貴重なものとなります。素敵な経験値にして下さい。頑張ってください。

貴重な機会、経験を無駄にせずに楽しんで色々なことを感じ、学んでください。

自分はこれをきっかけにボランティア活動に自分で参加していました。社会にはいろいろな問題があるということを肌で感じられると思います。
